

KART

Journal of the
KANAGAWA Association of
Radiological Technologists

Vol.77 No.5
Jan.2025

314

Feature

「医療の中の放射線」

シリーズ 71

小児に対する画像検査について

「食品と放射能 Q&A」

Vol.8



行動
基準

公益社団法人 日本診療放射線技師会

綱 領

- 一、 わたくしたちは、医療を求める人びとに奉仕します。
We will render our services to those in need of health case.
- 一、 わたくしたちは、チーム医療の一員として行動します。
We will act as individual members of a health care team.
- 一、 わたくしたちは、専門分野の責任をまっとうします。
We will perform our duties in our field of specialty.
- 一、 わたくしたちは、人びとの利益のために、常に学習します。
We will continue to study for the benefit of mankind.
- 一、 わたくしたちは、インフォームド・コンセントを尊重し、実践します。
We will respect and practice the policy of informed consent.

(平成9年6月14日 第54回 日本放射線技師会総会で採択)

公益社団法人 神奈川県放射線技師会

活動目的・方針

放射線従事者の生涯学習支援を通じて職業倫理を高揚し、放射線技術の向上発達並びに放射線障害防止及び放射線被ばく低減化を啓発し、公衆衛生の向上を図り、もって県民の保健の維持に寄与することを目的及び方針として活動をします。

事業概要事項

1. 放射線従事者の生涯学習支援に関すること
2. 保健維持事業への協力に関すること
3. 図書及び学術誌の刊行に関すること
4. その他目的を達成するために必要なこと

告示

会員各位

2025・2026 年度 代議員選挙の実施について

2024 年 12 月 20 日
公益社団法人神奈川県放射線技師会
代議員選挙管理委員会 委員長 尾川 松義

公益社団法人神奈川県放射線技師会 定款第 13 条ならびに代議員及び予備代議員選出規程第 2 条に従い、2025・2026 年度の代議員選挙を実施します。

記

1. 選挙すべき職 及び 任期

職：公益社団法人神奈川県放射線技師会 代議員および予備代議員
任期：選出後の 4 月 1 日から 2 年後の 3 月 31 日まで

2. 立候補要件 及び 立候補定数

立候補要件：当該年度の会費を完納した正会員
(代議員及び予備代議員選出規程第 5 条)
定数：別表 1 本誌 34 ページ (2024 年 11 月 1 日現在の正会員数より算定)

3. 立候補受付期間

2025 年 1 月 1 日 (水) から 2 月 28 日 (金) 17 時まで (必着)

4. 立候補届提出方法 及び 提出先

提出方法：郵送もしくは電子メール (PDF形式)
提出先：
(宛先) 公益社団法人神奈川県放射線技師会 代議員選挙管理委員会
(住所) 〒231-0033
横浜市中区長者町 4 丁目 9 番地 8 号 ストック伊勢佐木 1 番館 501 号
(メールアドレス) delegate@kart21.jp

5. 投票の実施

候補者が定数または定数に満たない場合、投票は実施しません。
候補者が定数を超えた場合、投票を実施します。

6. 投票方法

投票は神奈川県放射線技師会 代議員選挙管理委員会の管理の下、選挙区ごとに実施します。
投票の方法、場所についてはホームページで告示します。
投票 及び 開票日：2025 年 3 月 31 日 (月) 19 時

7. 選挙結果の公表

結果確定後、速やかに公表します。

8. 異議申立て

代議員及び予備代議員選出規程第 16 条により異議申し立ては電子メールによるものとし、申し立て先は選挙管理委員会委員長とします。
期間：2025 年 4 月 1 日 (火) から 4 月 7 日 (月) まで

9. 注意事項

立候補届は神奈川県放射線技師会ホームページ内からダウンロードし、必要事項を記入し提出してください。

10. お問い合わせ先

公益社団法人 神奈川県放射線技師会
選挙管理委員会
メールアドレス：delegate@kart21.jp

以上

網	領	1
告	示	2025・2026 年度 代議員選挙の実施について	2
目	次	3
巻	頭	2025 年 年頭にあたって	
		公益社団法人 神奈川県放射線技師会 副会長 引地 利昭	4
特	集	「医療の中の放射線」シリーズ 71	
		小児に対する画像検査について	
		公益社団法人 神奈川県放射線技師会 学術委員会	
		公立大学法人 横浜市立大学附属病院 放射線部 山岡 広樹	5
		「食品と放射能 Q & A」 Vol.8	
		公益社団法人 神奈川県放射線技師会 編集委員会	11
社会貢献者紹介		令和 6 年度 神奈川県保健衛生表彰	
		横浜市立大学附属病院 坂野 智一	18
		令和 6 年度 神奈川県公衆衛生協会会長表彰	
		小田原循環器病院 岩崎 豊	18
地域だより		川崎地区 医療施設紹介 医療法人社団愛成会 京浜総合病院	
		医療法人社団愛成会 京浜総合病院 放射線科 岩瀬 和寿	19
		横浜北部地区 横浜北部地区放射線技師会学術研修会報告	
		鶴見大学歯学部附属病院 宇田川 孝昭	21
医療業界を知る		誕生 ブラッコ・ジャパン	
		ブラッコ・ジャパン株式会社	23
参加記		第 17 回 放射線災害時のスクリーニング作業の実際について	
		(実践講習会) 参加記	
		横須賀市立うわまち病院 古賀 奈津実	25
活動報告		第 42 回 糖尿病週間行事&小田原市ふれあいけんこうフェスティバル	
		涉外活動報告	
		公益社団法人 神奈川県放射線技師会 涉外委員会	
		西湘地区放射線技師会 原 千夏	27
		かわさき区子育てフェスタ 2024 涉外活動報告	
		公益社団法人 神奈川県放射線技師会 涉外委員会	
		日本鋼管病院 沖廣 賢吾	28
		ハローよこはま 2024 涉外活動報告	
		公益社団法人 神奈川県放射線技師会 涉外委員会 金岩 清雄	29
		健康チャレンジフェアかながわ 2024 涉外活動報告	
		公益社団法人 神奈川県放射線技師会 涉外委員会 金岩 清雄	30
お知らせ		2025 年度関東甲信越診療放射線技師学術大会のご案内	31
		第 115 回 神奈川消化管撮影技術研究会定例会のご案内	32
		第 71 回 神奈川超音波研究会 「腹部 US 症例検討会」のご案内	33
別表 1		2025・2026 年度 地区別代議員定数	34
求人案内		中央医療大学(仮称) 大学教員募集のお知らせ	35
VOICE		年頭のご挨拶	36
		編集後記	36



2025年 年頭にあたって

公益社団法人 神奈川県放射線技師会

副会長 引地 利昭

新しい年を迎え、皆さまに心よりお慶びを申し上げます。

昨年は、当会の活動に多大なるご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございました。また、先日開催いたしました新春情報交換会において、新年のご挨拶をさせていただき、大変嬉しく思っております。ご参加いただきました会員・賛助会員の皆さまに、心より感謝申し上げます。

2025年は蛇年（巳年）にあたり、蛇は古来より「再生」や「成長」の象徴とされ、変化を恐れず進む力を示してくれる存在です。また、本年の干支は「乙巳（きのとみ）」で、「乙」は十干の2番目に位置し、草木が芽吹き始める様子を象徴しています。一方、「巳」は十二支の6番目にあたり、成長や変化を意味します。この組み合わせは、新たな始まりと未来への進化を象徴しています。さらに、歴史を振り返ると、「乙巳」の年には社会的な変革や重要な出来事が多く見られます。たとえば、645年の「乙巳の変（きのとのへん）／大化の改新」は、日本史における大きな転換点であり、改革と新たな体制の構築が進められました。

本年は、この「乙巳」が持つ意味や象徴する力に倣い、会員の皆さまと共に学び、成長し、次のステップへ進む一年にしたいと考えております。

本年の主な活動予定

- 2025・2026年度代議員選挙の実施
立候補受付期間：2025年1月1日～2月28日
- 総会（2025年5月末開催予定）
2025年度の事業計画や予算案を共有し、代議員の

皆さまと放射線技師会の未来について議論する場です。代議員の皆さまのご出席およびご意見をお待ちしております。

- 2025年関東甲信越診療放射線技師学術大会
（2025年7月5日・6日開催予定）
会 場：「パシフィコ横浜 会議センター 3F」
テーマ：「多様化する医療との共創

— 開港の地から未来につなぐ —

本大会では、医療の多様化に伴う診療放射線技師の新たな役割や可能性を探ることを目的に、特別講演、教育講演、市民公開講演、学術発表、機器展示など、多彩なプログラムを予定しております。地域を超えた交流や知識の共有を通じて、医療の質の向上や課題解決の新たなヒントを得られる場となることを願っております。横浜の地で、素晴らしい出会いと学びの時間を皆さまと共有できることを心より楽しみにしております。ぜひご参加ください。

結びに

変化が続く医療現場において、診療放射線技師としての専門性を高め、医療チームの一員としての価値を発揮することが、ますます求められる時代となっております。当会としても、皆さまの成長を支援し、安心して活動いただける環境づくりに努めてまいります。会員および賛助会員の皆さまが、健康で充実した一年をお過ごしいただけますよう、心よりお祈り申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

特集

「医療の中の放射線」シリーズ 71

小児に対する画像検査について

公益社団法人 神奈川県放射線技師会 学術委員会
公立大学法人 横浜市立大学附属病院 放射線部 山岡 広樹

はじめに

今回は小児に対する画像検査についてご紹介します。私たちは病院を受診すると、症状に応じて様々な画像検査を受ける事があります。一般撮影やCT検査、MRI検査はその代表例です。これらは小児の場合でも同様であり、診療において非常に重要な役割を果たします。しかし、小児は成人と比べて体格が小さく、発育過程にあるため、画像検査には成人とは異なる対応や知識が求められます。そこで、今回は各画像検査の特徴を説明します。

抑制の必要性

一般撮影（単純X線検査）・CT検査・MRI検査に問わず、画像検査では静止していることが重要となります。じっとしていることが苦手な小児の撮影では、補助具（図1）などを使用して抑制することが必要不可欠となります。



図1 抑制補助具

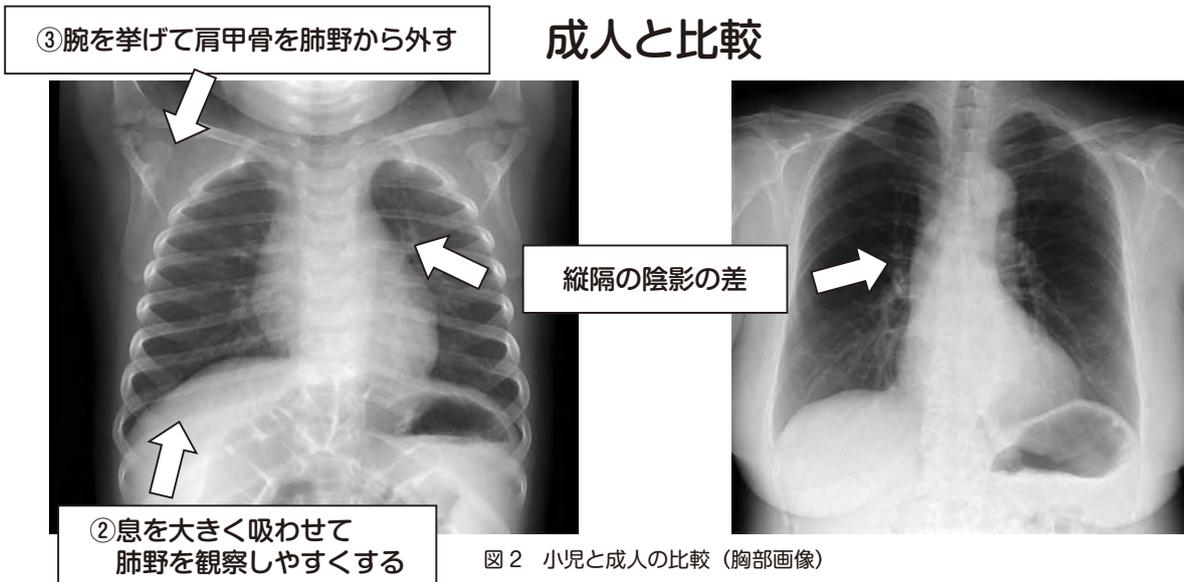
■ 一般撮影

一般撮影とは X 線を使用した撮影全般を指します。画像検査の中で比較的頻度が高く、身近に感じられる検査の一つです。特に小児画像診断においては、実施頻度が高い検査となっています。しかし、小児患者の場合、不安のため泣いてしまったり落ち着きがなかったりすることが多く、保護者が付き添っていても、静止した良好な画像を撮影することが難しい特徴があります。また、胸部画像を小児と成人と比較すると縦隔陰影に差があることがわかります (図 2)。

検査を受ける際の注意点としては、洋服を脱いでもらい、必要に応じてオムツも外す必要があります。ご自宅で落ち着いているときに「お写真を撮るだけ。痛くないからね」など、事前に説明をしていただくと円滑に撮影できる可能性が高くなるため、保護者の皆様にもご協力いただけると幸いです。撮影の際、診療放射線技師は通常二人以上で対応します。一人が腕を上げる補助を行い、もう一人が胴体を支えるなど役割を分担して撮影を行います。

● 胸部画像のポイント ●

- ①真正面を向かせる (図 3) ②息を大きく吸わせる ③腕を挙げることで肩甲骨が外せる



ポジショニングによる画像の差

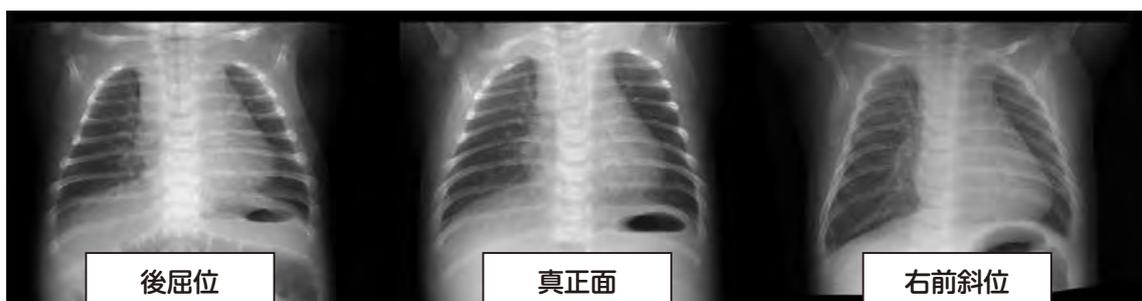


図 3 真正面画像と比べて

小児における整形外科の一般撮影画像には、「骨端線」という特徴的な構造が見られます。骨端線とは四肢などの骨端部に存在する成長に関わる軟骨組織で、細胞が密集している部分を指します。この軟骨組織は成長期が進むにつれて骨に置き換わります。高校生くらいになると、この骨端軟骨は完全に骨化し、成長が終了します(図4 図5)。この骨端線や成長軟骨の存在は、骨折の所見(骨折線)と類似することがあるため診断を難しくする場合があります。症状のある側と症状のない側の両側を撮影し画像を比較することで、形状の変化や微小骨折を見逃さず、発見しやすくなります。このため、左右を比較した撮影は、診断に非常に有用です(図4)。

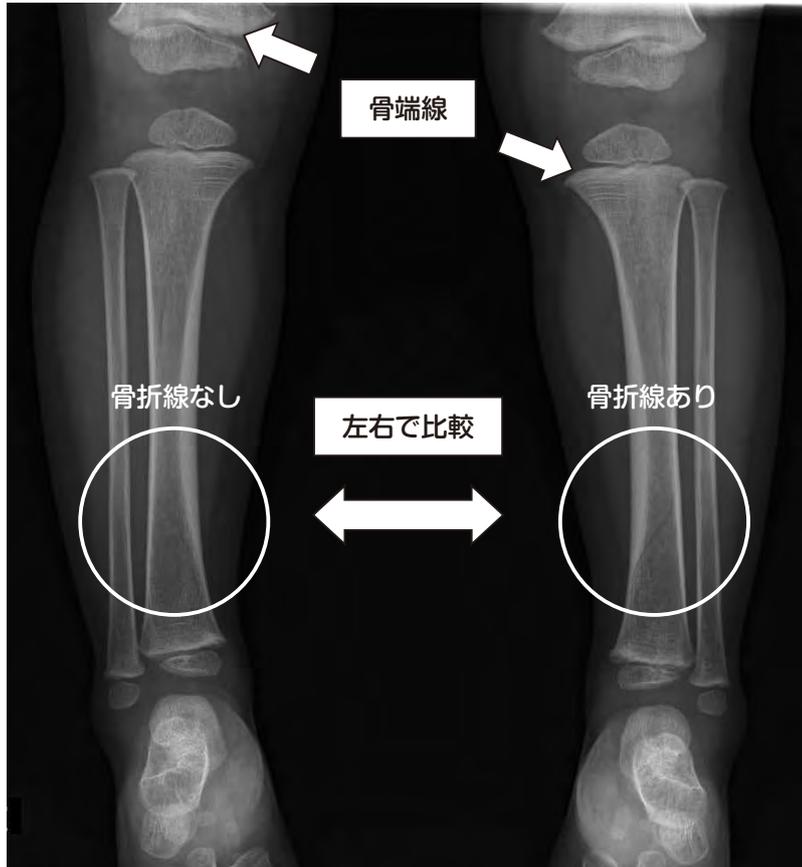


図4 小児下腿両側撮影



図5 成人下腿撮影



■ CT 検査

CTとは Computed Tomography (コンピュータ断層撮影) の略で、X線を利用して人体の内部を画像化する装置です。この装置では、撮影した画像を様々な方向の断面(図6)や、立体的な3D画像を作成して観察できるため、身体の詳細な情報を得ることができます。CT検査にかかる時間は約10分とMRI検査に比べ短い特徴があります。しかし、撮影時に動くと画像が不鮮明になるため、特に小児の撮影では動きを抑える工夫が必要です。そのため、場合によっては薬剤を用いた鎮静(寝かせる処置)や身体を固定する抑制が行なわれることがあります。

頭部CT画像を小児と成人で比較すると、小児の頭部は脳室系が狭く、全体的に水分が多いため、灰白質(大脳皮質)と白質(大脳髄質)のコントラストが弱い傾向があります。また頭蓋骨も成人に比べ薄いことが特徴です(図7)。

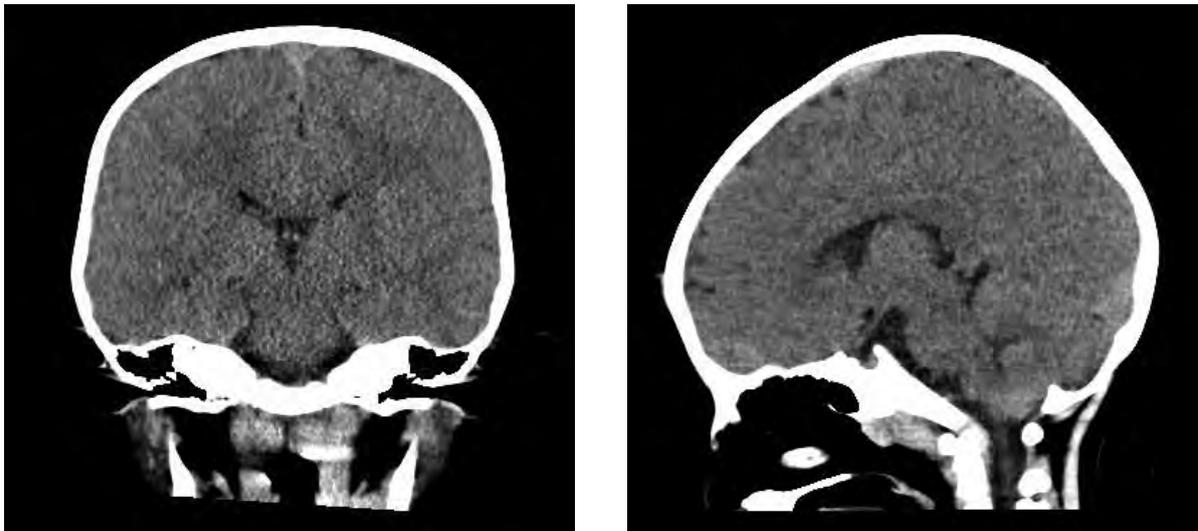


図6 小児頭部CT 冠状面と矢状面

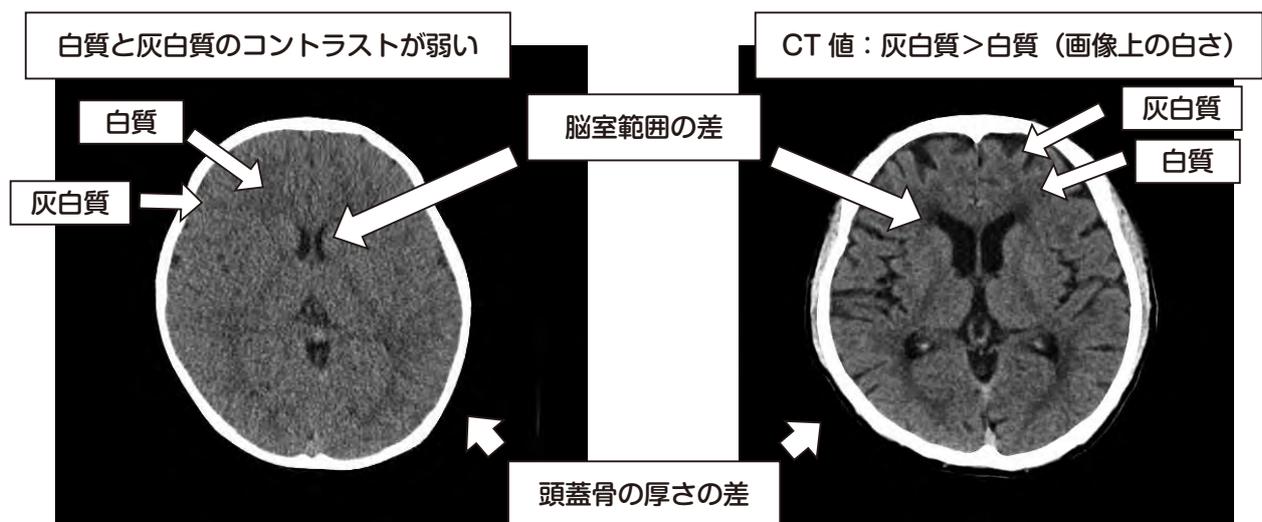


図7 頭部CT 小児と成人の比較

■ MRI 検査

MRI とは Magnetic Resonance Imaging (磁気共鳴画像) の略で、大きなトンネル状の装置に入り、強力な磁場と RF (ラジオ波) を利用して検査を行います。一般撮影や CT 検査とは違い、放射線を使用しないため、被ばくが無いことが特長です。

MRI 検査は、成人の画像検査において重要な役割を果たしますが、小児に対しても同様に有用な情報を提供するため、重要な検査となります。しかし、小児への MRI 検査の実施は多くの課題があります。装置内はトンネル状で狭く圧迫感があり、検査中は大きな騒音が発生します。さらに撮像時間が約 30 分と長く、小児がその間じっと静止していることはほぼ不可能です。そのため、小児に対しては、安全に MRI 検査を実施するために鎮静 (寝かせる処置) が必要となります。しかし、鎮静中も完全に静止することは難しく、動きによってブレた画像になってしまうこともあります (図 9)。

また、小児の頭部 MRI 画像は成人と比較して特徴的な違いがあります。小児では、白質や灰白質のコントラストが逆転しているほか、また水分量が多いため白っぽく見える傾向にあり、コントラストが弱い特徴があります。

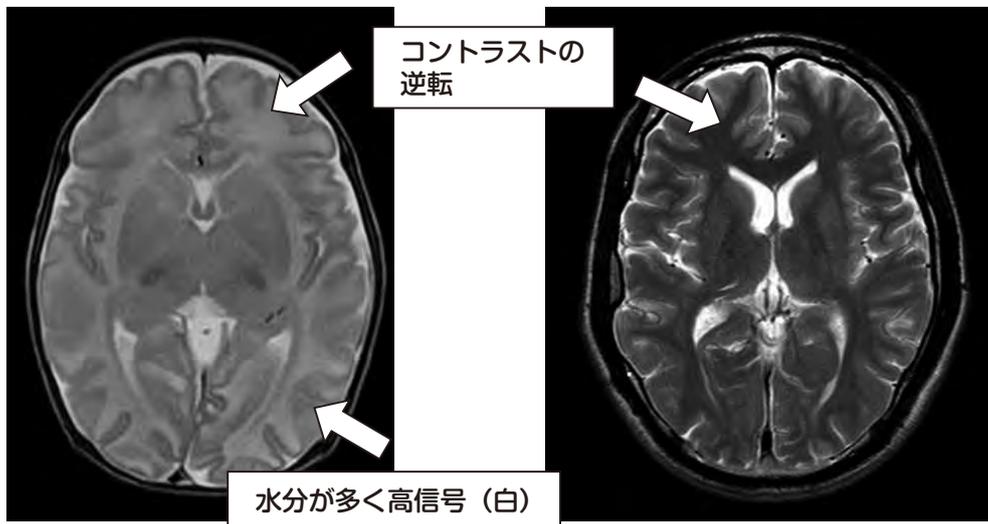


図 8 小児 頭部 MRI (T2 強調画像) 小児と成人の比較



図 9 小児 頭部 MRI (T2 強調画像) 動きによってブレた画像

■ 終わりに

今回は小児に対する画像検査についてご紹介しました。どの画像検査においても、我々診療放射線技師は小児が不安にならないように、優しく声を掛けたり、DVD で注意を引くなど、様々な工夫をして対応しています。保護者の皆さまにも、私たちの取り組みをご理解いただき、検査が円滑に進むようご協力いただけますと幸いです。何か疑問等や不明な点がございましたら、どうぞお気軽にお近くの診療放射線技師にお尋ねください。

■ 参考文献

- 画像診断ガイドライン 2021 年版 Diagnostic Imaging Guidelines 2021 日本医学放射線学会 編
- 第 56 回日本小児放射線学会学術集会 “新時代の小児診療，360 度の評価をめざして” より小児の胸部 X 線写真読影の ABC 望月 博之 東海大学医学部 総合診療学系小児科学日本小児放射線学会雑誌 J Jpn Soc Pediatr Radiol 2021; 37(1): 11-17



特集

食品と放射能 Q&A Vol.8

公益社団法人 神奈川県放射線技師会 編集委員会



はじめに

東日本大震災の東京電力福島第一原子力発電所の事故から13年以上が経過しました。被災地は、日々復興・再生に向けた動きが進んでおります。一方で、放射性物質に関して不安を感じる方もいらっしゃいます。消費者庁は地方公共団体を支援して、住民が消費する食品中の放射性物質を消費サイドで検査し、安全性を確かめる取組を進めています。また、消費者の皆様が、測定結果や現在の食品の安全性を正確に理解し、行動していただけるよう、消費者と専門家が共に参加して意見交換するシンポジウムなどを各地で開催しています。

この冊子は、食品等の安全性や放射性物質に関して、消費者の皆様が疑問や不安に思われることを、Q&Aによって分かりやすく説明するよう努めました。理解の深まりや疑問の解消のお役に立てれば幸いです。

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/food_safety/food_safety_portal/radioactive_substance/



2024(令和6)年7月1日(第18版)



8 日常の食生活で摂取する放射性物質

問1 私たちは、毎日の暮らしの中で、食品からどのくらいの放射性セシウムを取り込んでいるのですか。

答

1 厚生労働省では、平成24年2～3月以降、約半年ごとに全国15地域で、実際に流通する食品を購入し、そのままの状態又は加工・調理した後の放射性セシウムの濃度を測定し、国民健康・栄養調査の摂取量平均に基づいて、平均的な食生活をしたときに追加的に受ける年間放射線量を推定しています（マーケットバスケット（MB）方式、15ページ参照）。あわせて、平成24年3～5月、平成25年3月に一般家庭で実際に調理された食事を収集し、含まれる放射性セシウムの濃度を測定し、食品中の放射性セシウムから受ける年間放射線量を推定しました（陰膳方式、15ページ参照）。

2 これらの調査結果によれば、いずれの方法でも、1年間で食品中の放射性セシウムから受ける線量は、食品衛生法に基づく基準値を設定した際の根拠とした線量である1mSv（ミリシーベルト）/年の0.1%（0.0010mSv/年）程度です。

3 また、MB方式の調査は、東京電力福島第一原子力発電所の事故直後の平成23年9～11月にかけて福島県（中通り）、宮城県、東京都でも行われており、福島県が放射性セシウム：0.019mSv/年、放射性カリウム：0.19mSv/年、宮城県が放射性セシウム：0.018mSv/年、放射性カリウム：0.21mSv/年、東京都が放射性セシウム：0.0024mSv/年、放射性カリウム：0.18mSv/年でした。

福島県（中通り）の結果を見ると、事故直後（0.019mSv/年）と比べて半年間で線量の値が大きく減少しました（0.0066mSv/年）。

※放射性カリウムは植物や動物に元から含まれている、天然の放射性物質です。

4 こうした調査結果や、食品中の放射性物質検査の結果において、放射性物質が検出されないものが多くなっているという結果から、現在、生産者や流通・加工関係者、地方公共団体が取り組んでいる食品中の放射性物質に関する管理措置が効果を発揮しており、日常の食生活から摂取する放射性セシウムは、健康に影響が生じる量ではないといえます。



食生活から受ける放射線量
 移行基準値の想定根拠
 となった上限線量
 1mSv/年の
0.1%程度

■食品中の放射性物質から受ける放射線量

〈表1 MB 試料による放射性セシウム及び放射性カリウムの推定年間放射線量〉

地域	放射性セシウム (mSv/年)									放射性カリウム (mSv/年)		
	H23年 9～11月	H24年 2～3月	H24年 9～10月	H26年 2～3月	H26年 9～10月	H28年 2～3月	H28年 9～10月	H29年 2～3月	H29年 9～10月	H23年 9～11月	H24年 2～3月	H24年 9～10月
北海道	—	0.0009	0.0010	0.0009	0.0007	0.0007	0.0007	0.0007	0.0006	—	0.157	0.152
岩手県	—	0.0094	0.0040	0.0017	0.0011	0.0010	0.0010	0.0008	0.0011	—	0.202	0.218
宮城県	0.018	—	0.0057	0.0012	0.0013	0.0008	0.0010	0.0009	0.0008	0.21	—	0.198
福島県(浜通り)	—	0.0063	0.0018	0.0019	0.0022	0.0009	0.0011	0.0010	0.0009	—	0.186	0.198
福島県(中通り)	0.019	0.0066	0.0038	0.0019	0.0016	0.0010	0.0012	0.0010	0.0008	0.19	0.189	0.196
福島県(会津)	—	0.0039	0.0038	0.0017	0.0011	0.0010	0.0009	0.0009	0.0009	—	0.179	0.203
栃木県	—	0.0090	0.0032	0.0013	0.0012	0.0011	0.0014	0.0010	0.0007	—	0.180	0.205
茨城県	—	0.0044	0.0035	0.0012	0.0012	0.0008	0.0011	0.0008	0.0007	—	0.194	0.209
埼玉県	—	0.0039	0.0024	0.0009	0.0014	0.0007	0.0009	0.0009	0.0007	—	0.175	0.181
東京都	0.002	—	0.0022	0.0010	0.0010	0.0008	0.0008	0.0007	0.0008	0.18	—	0.188
神奈川県	—	0.0033	0.0021	0.0011	0.0013	0.0008	0.0010	0.0008	0.0006	—	0.156	0.174
新潟県	—	0.0023	0.0017	0.0008	0.0010	0.0007	0.0008	0.0007	0.0006	—	0.167	0.189
大阪府	—	0.0016	0.0012	0.0008	0.0007	0.0007	0.0007	0.0007	0.0006	—	0.160	0.154
高知県	—	0.0012	0.0013	0.0009	0.0007	0.0006	0.0007	0.0008	0.0006	—	0.177	0.139
長崎県	—	—	0.0009	0.0007	0.0007	0.0007	0.0007	0.0006	0.0006	—	—	0.141

地域	放射性セシウム (mSv/年)										
	H30年 2～3月	H30年 9～10月	H31年 2～3月	R1年 9～10月	R2年 2～3月	R2年 9～10月	R3年 2～3月	R3年 9～10月	R4年 2～3月	R4年 9～10月	R5年 2～3月
北海道	0.0006	0.0006	0.0005	0.0006	0.0005	0.0006	0.0006	0.0006	0.0006	0.0005	0.0006
岩手県	0.0008	0.0007	0.0008	0.0008	0.0006	0.0009	0.0006	0.0007	0.0006	0.0006	0.0010
宮城県	0.0011	0.0008	0.0006	0.0007	0.0010	0.0009	0.0008	0.0007	0.0007	0.0009	0.0008
福島県(浜通り)	0.0009	0.0009	0.0007	0.0009	0.0007	0.0009	0.0007	0.0007	0.0008	0.0008	0.0006
福島県(中通り)	0.0011	0.0011	0.0010	0.0008	0.0008	0.0010	0.0009	0.0007	0.0008	0.0008	0.0008
福島県(会津)	0.0007	0.0010	0.0008	0.0007	0.0009	0.0008	0.0007	0.0007	0.0008	0.0011	0.0007
栃木県	0.0008	0.0010	0.0008	0.0010	0.0014	0.0007	0.0007	0.0007	0.0007	0.0007	0.0009
茨城県	0.0009	0.0007	0.0005	0.0008	0.0006	0.0008	0.0007	0.0008	0.0006	0.0007	0.0005
埼玉県	0.0006	0.0006	0.0007	0.0009	0.0008	0.0007	0.0007	0.0007	0.0006	0.0005	0.0006
東京都	0.0006	0.0007	0.0006	0.0007	0.0007	0.0007	0.0007	0.0007	0.0006	0.0006	0.0006
神奈川県	0.0006	0.0006	0.0007	0.0007	0.0006	0.0007	0.0006	0.0007	0.0006	0.0006	0.0006
新潟県	0.0006	0.0006	0.0006	0.0007	0.0006	0.0007	0.0006	0.0007	0.0006	0.0009	0.0006
大阪府	0.0005	0.0006	0.0005	0.0006	0.0006	0.0007	0.0005	0.0006	0.0005	0.0005	0.0006
高知県	0.0006	0.0006	0.0005	0.0008	0.0006	0.0005	0.0006	0.0006	0.0006	0.0006	0.0006
長崎県	0.0005	0.0006	0.0005	0.0005	0.0006	0.0006	0.0005	0.0005	0.0005	0.0008	0.0005

※Bq からSv への換算には、ICRP Publication 72 の成人の推定実効線量係数(Sv/Bq)を用いた。



日常の食生活で摂取する放射性物質

〈表2 陰膳試料による放射性セシウム及び放射性カリウムの推定年間放射線量〉

地域	放射性セシウム (mSv/年)				放射性カリウム (mSv/年) H24年3~5月
	H24年3~5月		H25年3月		
	幼児	成人	幼児	成人	
北海道	0.0008	0.0015	0.0001	0.0002	0.208
岩手県	0.0026	0.0048	—	0.0017	0.201
宮城県	—	—	0.0003	0.0012	—
福島県	0.0008	0.0031	0.0009	0.0017	0.187
栃木県	0.0020	0.0042	—	—	0.204
茨城県	0.0029	0.0048	0.0007	0.0009	0.214
埼玉県	0.0009	0.0026	0.0007	0.0005	0.174
新潟県	0.0010	0.0019	—	—	0.170
東京都	—	—	0.0022	0.0011	—
神奈川県	—	—	—	0.0007	—
大阪府	0.0007	0.0010	0.0001	0.0008	0.166
高知県	0.0012	0.0014	—	0.0008	0.196



マーケットバスケット(MB)方式
(流通食品での調査)

※1 マーケットバスケット (MB) 方式

種々の化学物質の一日摂取量を推定するための調査方式の一つ。マーケットバスケット方式では、日本人の平均的な食事を再現したモデル試料を作製します。厚生労働省は、国民の身体状況、栄養素等摂取量を明らかにし、国民の健康増進を図るために、毎年国民健康・栄養調査を実施しています。この調査では、3,000世帯以上に依頼して、一日に食べた食品全ての重量を調査票に記入していただいています。このデータを集計することにより、個々の食品の一日摂取量の平均値を求めることができます。食品をそれぞれの一日摂取量の比率に従って混合すれば、一日の平均的な食事となりますが、全ての食品を含めた単一試料は、調整することも分析することも困難であるので、食品をその性質によって14の群に分類し、14試料で1セットのマーケットバスケット試料となります。米及び飲料水以外の群は、それぞれに10程度以上の食品を含めるので、マーケットバスケット試料全体としては200種類以上の食品を含むこととなります。また、国民健康・栄養調査データを地域別、年齢層別等に解析して、当該グループの食品摂取量の平均値を求めることにより、それぞれのマーケットバスケット試料を作製することが可能です。

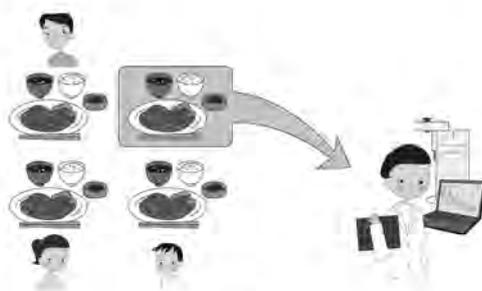
食品群ごとに含める食品とその重量を決定した後、小売店などで食品を購入し、必要に応じて摂食する状態に加工・調理を行います。調理としては、水で煮る、フライパンで焼く等が行われますが、油脂の群、調味料の群が含まれているので、油で揚げる、調味するといった調理は行いません。調理した食品は、摂取量に従って採取し、混合・均一化します。

マーケットバスケット方式では、平均的な食事試料を作製しているので、化学物質摂取量の平均値のみが求められ、摂取量の分布は得られません。一方、食品群別に一日摂取量が得られることから、対象とする化学物質の主要な摂取源となる食品群を特定することが可能です。

※2 陰膳方式

種々の化学物質の一日摂取量を推定するための調査方式の一つ。陰膳方式では、一般家庭から特定の個人の一日分の食事を実際に集め、一日分を混合・均一化して試料とします。実際の食事を使用するため、地域、年齢に加えて個人の嗜好等も反映された試料となります。多数の性質の異なる食品を混合するため、食品群ごとに分かれているMB試料よりも測定は難しいとされています。また、大量の飲料水、嗜好飲料等が含まれるために分析対象物質の濃度が低くなります。

十分に多数の陰膳試料があれば、摂取量の平均値、標準偏差、パーセンタイル値等の統計量も推定できます。食事内容の詳細なデータが得られれば、解析により摂取源を特定できる可能性はありますが、一般的には困難です。



陰膳方式
(家庭の食事での調査)



日常の食生活で摂取する放射性物質

問2 放射性セシウム以外の放射性物質は、どのくらい取り込んでいるのですか。

答

1 厚生労働省では、平成24年2～3月以降、約半年ごとに全国各地で、実際に流通する食品を購入し、そのままの状態又は加工・調理した後の放射性物質濃度を測定しました(マーケットバスケット(MB)方式、15ページ参照)。

あわせて、平成24年3～5月に一般家庭で実際に調理された食事を収集し、含まれる放射性物質濃度を測定しました(陰膳方式、15ページ参照)。

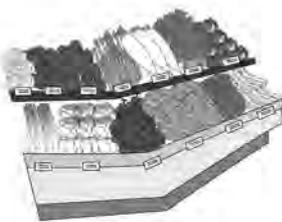
2 マーケットバスケット調査で作成した試料のうち、放射性セシウム(Cs-134とCs-137の合計)濃度が0.5Bq(ベクレル)/kg以上となった試料を測定しました。

〈表3 測定対象試料数及び放射性ストロンチウムが検出された試料数〉

	2～3月	9～10月
平成24年	20 試料測定中7 試料	17 試料測定中8 試料
平成25年	12 試料測定中8 試料	10 試料測定中7 試料
平成26年	3 試料測定中3 試料	5 試料測定中4 試料
平成27年	3 試料測定中2 試料	2 試料測定中2 試料
平成28年	放射性セシウム濃度が0.5Bq/kg以上となった対象試料なし	1 試料測定中1 試料
平成29年	放射性セシウム濃度が0.5Bq/kg以上となった対象試料なし	放射性セシウム濃度が0.5Bq/kg以上となった対象試料なし
平成30年	放射性セシウム濃度が0.5Bq/kg以上となった対象試料なし	放射性セシウム濃度が0.5Bq/kg以上となった対象試料なし
平成31年(令和元年)	放射性セシウム濃度が0.5Bq/kg以上となった対象試料なし	放射性セシウム濃度が0.5Bq/kg以上となった対象試料なし
令和2年	放射性セシウム濃度が0.5Bq/kg以上となった対象試料なし	放射性セシウム濃度が0.5Bq/kg以上となった対象試料なし
令和3年	放射性セシウム濃度が0.5Bq/kg以上となった対象試料なし	放射性セシウム濃度が0.5Bq/kg以上となった対象試料なし
令和4年	放射性セシウム濃度が0.5Bq/kg以上となった対象試料なし	放射性セシウム濃度が0.5Bq/kg以上となった対象試料なし
令和5年	放射性セシウム濃度が0.5Bq/kg以上となった対象試料なし	放射性セシウム濃度が0.5Bq/kg以上となった対象試料なし

3 放射性ストロンチウムの濃度はいずれも低値で、東京電力福島第一原子力発電所事故以前の範囲内(検出限界は最大で0.04Bq/kg)であり、平成29年2～3月以降は測定対象となる試料はありませんでした。平成24年3～5月に行った陰膳試料で放射性ストロンチウムが検出されたのは、63試料中36試料で、その濃度は事故以前と同程度でした。

また、いずれの試料でも、プルトニウムは検出されておらず(検出限界は最大で0.003Bq/kg)、平成29年2～3月以降は対象となる試料はありませんでした。



■食品中の放射性物質濃度

陰膳試料から検出された濃度			MB試料から検出された濃度				MB試料から検出された濃度				
地域	放射性ストロンチウム(Bq/kg)	放射性セシウム(Bq/kg)	調査時期	地域	放射性ストロンチウム(Bq/kg)	放射性セシウム(Bq/kg)	調査時期	地域	放射性ストロンチウム(Bq/kg)	放射性セシウム(Bq/kg)	
福島県	0.024	0.45	H 24年 2/3月	福島県(浜通り)	0.033	4.6	H 28年 2/3月	対象なし	—	—	
福島県	0.014	0.41		福島県(浜通り)	0.023	1.5		9/10月	福島県(中通り)	0.064	0.54
福島県	0.024	0.046		福島県(中通り)	0.021	5.4	H 29年 2/3月		対象なし	—	—
福島県	0.012	0.36		福島県(会津)	0.016	1.0		9/10月	対象なし	—	—
岩手県	0.018	0.41		栃木	0.020	0.59	H 30年 2/3月		対象なし	—	—
岩手県	0.013	0.16		茨城	0.039	0.74		9/10月	対象なし	—	—
岩手県	0.016	0.021		神奈川	0.026	1.2	H 31年 2/3月		対象なし	—	—
岩手県	0.016	0.021		宮城県	0.024	0.53		R 1年 9/10月	対象なし	—	—
岩手県	0.012	0.53		宮城県	0.018	0.86	R 2年 2/3月		対象なし	—	—
岩手県	0.012	0.53		宮城県	0.045	0.51		9/10月	対象なし	—	—
岩手県	0.017	0.25		埼玉県	0.051	0.55	R 3年 2/3月		対象なし	—	—
栃木県	0.017	0.17		埼玉県	0.053	0.57		9/10月	対象なし	—	—
栃木県	0.017	0.37		神奈川県	0.12	1.7	R 4年 2/3月		対象なし	—	—
新潟県	0.012	0.49		新潟県	0.046	0.67		9/10月	対象なし	—	—
新潟県	0.018	0.63		大阪府	0.042	0.55	R 5年 2/3月		対象なし	—	—
茨城県	0.015	0.026		岩手県	0.067	1.4		H 25年 2/3月	対象なし	—	—
茨城県	0.012	0.055		宮城県	0.087	0.69	R 1年 9/10月		対象なし	—	—
茨城県	0.0081	0.16		福島県(浜通り)	0.033	9.3			R 2年 2/3月	対象なし	—
茨城県	0.017	0.15		福島県(中通り)	0.040	0.51	9/10月			対象なし	—
茨城県	0.017	0.15		福島県(中通り)	0.033	5.2			R 3年 2/3月	対象なし	—
茨城県	0.016	0.22	福島県(会津)	0.036	4.5	9/10月	対象なし			—	—
茨城県	0.016	0.10	茨城県	0.027	0.58		R 4年 2/3月		対象なし	—	—
埼玉県	0.012	—	東京都	0.039	0.50	9/10月			対象なし	—	—
埼玉県	0.013	—	岩手県	0.11	2.3		R 5年 2/3月		対象なし	—	—
埼玉県	0.018	0.032	岩手県	0.026	0.53	R 1年 9/10月			対象なし	—	—
埼玉県	0.019	0.025	宮城県	0.030	0.61		R 2年 2/3月		対象なし	—	—
埼玉県	0.023	0.042	福島県(浜通り)	0.065	0.87	9/10月			対象なし	—	—
埼玉県	0.016	—	福島県(中通り)	0.067	0.90		R 3年 2/3月		対象なし	—	—
北海道	0.018	—	福島県(中通り)	0.058	1.3	9/10月			対象なし	—	—
北海道	0.016	—	茨城県	0.023	0.61		R 4年 2/3月		対象なし	—	—
北海道	0.017	—	福島県(浜通り)	0.025	0.52	9/10月			対象なし	—	—
北海道	0.017	0.020	福島県(中通り)	0.054	1.7		R 5年 2/3月		対象なし	—	—
北海道	0.014	0.030	福島県(会津)	0.066	0.52	R 1年 9/10月			対象なし	—	—
大阪府	0.012	—	岩手県	0.046	0.80		R 2年 2/3月		対象なし	—	—
大阪府	0.016	—	福島県(浜通り)	0.060	0.76	9/10月			対象なし	—	—
大阪府	0.019	—	福島県(中通り)	0.027	0.63		R 3年 2/3月	対象なし	—	—	
高知県	0.014	—	東京都	0.026	0.50	9/10月		対象なし	—	—	
高知県	0.023	0.020	福島県(浜通り)	0.024	0.62		R 4年 2/3月	対象なし	—	—	
高知県	0.022	0.030	福島県(中通り)	0.029	0.58	9/10月		対象なし	—	—	
			福島県(中通り)	0.050	1.0		R 5年 2/3月	対象なし	—	—	
			埼玉県	0.035	0.56						

社会貢献者紹介 受彰おめでとうございます

令和6年度 神奈川県保健衛生表彰

横浜市立大学附属病院
坂野 智一氏 (会員番号 2080)



このたび、神奈川県放射線技師会のご推薦により、「神奈川県保健衛生表彰」という名誉ある賞を賜り、深く感謝申し上げます。これも、皆様の温かいご指導とご支援のおかげです。

私は、技術講習会で出会った先輩方とのご縁を通じ、短期間ながら CR 研究会や神奈川核医学研究会の幹事を経験させていただきました。現在は、本会の常務理事として、また神奈川アンギオ撮影研究会の幹事として、多くの皆様との交流やご指導をいただく機会を頂いており、その経験が私の大きな励みとなっています。

このたびの受賞を機に、引き続き地域の保健衛生の向上に貢献すべく、さらに努力してまいります。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和6年度 神奈川県公衆衛生協会会長表彰

小田原循環器病院
岩崎 豊氏 (会員番号 1500)



この度、神奈川県放射線技師会からの御推薦を頂き、令和6年度神奈川県公衆衛生協会会長表彰を受けて参りました。この場をお借りして御礼申し上げます。

西湘放射線技師会会長を会員皆様の支えにより少し長く務めさせて頂いたことも評価されてのことと推察いたします。その任期中は新型コロナウイルス感染拡大による混乱で技師会の行事も中止を余儀なくされ、また業務に関しても手探りでの対応をせざるを得なかったのは皆様も同様だったと思います。そのような困難な状況を乗り越えられたのも、スタッフ同士が協力しエビデンスに基づいた行動をとることが出来たからと思います。この経験を活かすことでより高度化複雑化する放射線診療業務に柔軟に対応し、今後の医療の質の向上に繋げて頂けることを期待いたします。



川崎地区 医療施設紹介

医療法人社団愛成会 京浜総合病院

医療法人社団愛成会 京浜総合病院
放射線科 岩瀬 和寿

京浜総合病院は川崎市中原区内の基幹病院、及び京浜メディカルグループの中核的存在として、一般診療・救急医療・予防医学・健康診断など広範囲にわたる医療活動を展開する総合病院として機能しております。

当院は、1966年（昭和44年）に開設しました。50年を超えて地域の医療ニーズに対応してきましたが、老朽化や医療環境の変化への対応並びに機能改善を図るために、2023年（令和5年）12月、旧病院の隣地に念願の新病院が開院しました。

新病院は、JR南武線の武蔵新城駅から徒歩3分ほどの場所にあり、立地条件にも恵まれております。よってこれまで通り地域の様々な患者様が受診しやすい「かかりつけ病院」として多くの疾患に対応しながら、大学病院や地域基幹病院の後方支援病院として専門的な医療への連携を担う役割をはたしています。また、当該医療圏において供給が不足していた療養病床を新たに配置することで、医療依存度が高い長期入院が必要な患者様に対して、介護事業者等との連携のもとに地域包括ケアの一翼を担っていきたいと考えています。さらには、災害時における一拠点として地域社会への貢献を果たしていける病院と考えております。



京浜総合病院正面



玄関を入ると開放感のある吹き抜け



病院最寄り駅の武蔵新城駅は、川崎市中原区上新城に位置する JR 南武線の駅です。駅前には住宅や商店が密集する市街地です。駅周辺には昔ながらの商店街やスーパー、郵便局などが揃い生活利便性が高く住みやすい街です。また個性的なお店もたくさんあり散策も楽しいところです。

自然や公園では、この地域は小さな公園も点在しており、地元で知られているのは「新城公園」と公園から 2.4km ほど続く桜の名所である「江川せせらぎ遊歩道」です。開放感があり、春には桜がアーチのようになりお花見をする人も見かけます。遊歩道では、ジョギングや散策をする人達、せせらぎには小さな水生生物がたくさんいるので、網をもったちびっ子たちがよく遊んでいます。また駅から 30 分ほど歩けば多摩川に出ることもできますし、自然いっぱいの等々力緑地も楽しむため、家族で休日を過ごすのに最適といえます。

最後に新病院の概要と放射線科を紹介します。診療科目は、内科、外科、整形外科、耳鼻咽喉科、眼科、婦人科、皮膚科、泌尿器科、健診科、放射線科。病床数は 140 床（一般病床・療養病床）

放射線科は、診療放射線技師 6 名（男性 3 名・女性 3 名）で、一般撮影装置 2 台、乳房撮影装置 1 台、X 線透視装置 1 台、骨塩定量測定システム 1 台、ポータブル装置 1 台、CT 装置 1 台、外科用イメージ装置 1 台です。これからも診断に役立つ画像やサービスの向上、被ばく低減に努めていこうと思います。





横浜北部地区

横浜北部地区放射線技師会学術研修会報告

鶴見大学歯学部附属病院
宇田川 孝昭

横浜北部地区放射線技師会は、COVID-19の影響でしばらく活動を休止しておりましたが、2024年11月12日（火）、鶴見大学記念館にて学術研修会が5年ぶりに開催されました。昨年末に役員が集まり、今年度から活動を再開いたしましたので、今後の地区活動にご期待ください。学術研修会では、まず横浜北部地区会長 曾我部の挨拶から始まり、3つの講演を行っていただきました。



会長 曾我部

講演1：AI読影ソリューションに於ける当社の取り組み

- Abierto RSS(Reading Support Solution) -

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 梅田 祐司

講演2：「富士フィルム AI開発の取り組み」

富士フィルムメディカル株式会社 樽村 圭祐

講演3：「中小規模病院で構築したSTAT画像報告への取り組みについて」

NTT 東日本関東病院 片桐 江美子

講演1 キヤノンメディカルの梅田氏には、画像解析システム（Abierto RSS）についてご講演いただきました。特徴の1つとして各社で開発した解析アプリケーションもAbierto RSSに実装することが可能な設計は、当院のような（歯科領域）専門性の高い施設でも、他で開発された解析アプリケーションを実装できるのありがたい機能だと思いました。

講演2 富士フィルムメディカルの樽村氏には肋骨骨折が疑われる箇所を自動でマーキングする機能や、胸部単純X線写真、頭部CT検査

の異常所見を自動で検出する機能など最新の診断支援技術をご講演いただきました。個人的には自分が生まれた頃からAIの開発が始まっていたことに驚きました。



キヤノン 梅田氏

富士フィルム 樽村氏

講演3 NTT 東日本関東病院の片桐氏には中小規模病院で構築した STAT 画像報告への取り組みについてご講演いただきました。中でも技師の勉強ツールとして LINE WORKS を使用しているのが画期的でした。問題画像を見て、どこに異常所見があるかを答えて行く形式で、これならそれぞれの隙間時間でも勉強できるので家事、育児に忙しい方や若い世代にも受け入れやすいと感じました。医師による解説動画を載せるなどの工夫もあり、最後に参加者にアンケートを取りフィードバックも行っているところに感銘を受けました。

最後に横浜北部副会長の稲垣より閉会の挨拶で締めくくりました。1時間30分と短い時間ではありましたが有意義な学術研修会となりました。



NTT 東日本関東病院 片桐氏



副会長 稲垣

今回は準備期間の関係で、十分なアナウンスができず、限られた人数での学術研修会になってしまいましたが、今後も学術研修会や納涼会、新年会など色々なイベントを開催していきたいと思います。横浜北部地区会員だけでなく、他地区会員の皆様もご参加いただけたらと思います。どうぞよろしくお願い致します。



学術研修会参加者

医療業界を知る

誕生 ブラッコ・ジャパン

ブラッコ・ジャパン株式会社

ブラッコ・ジャパン株式会社は、画像診断領域における世界的なリーディングカンパニーであるイタリアの Bracco Imaging Holding B.V. の日本法人で、1990年にブラッコとエーザイの合併会社としてブラッコ・エーザイ株式会社を創立し約30年と共に歩んできましたが、2023年にブラッコの100%子会社としてブラッコ・ジャパン株式会社を設立しました。

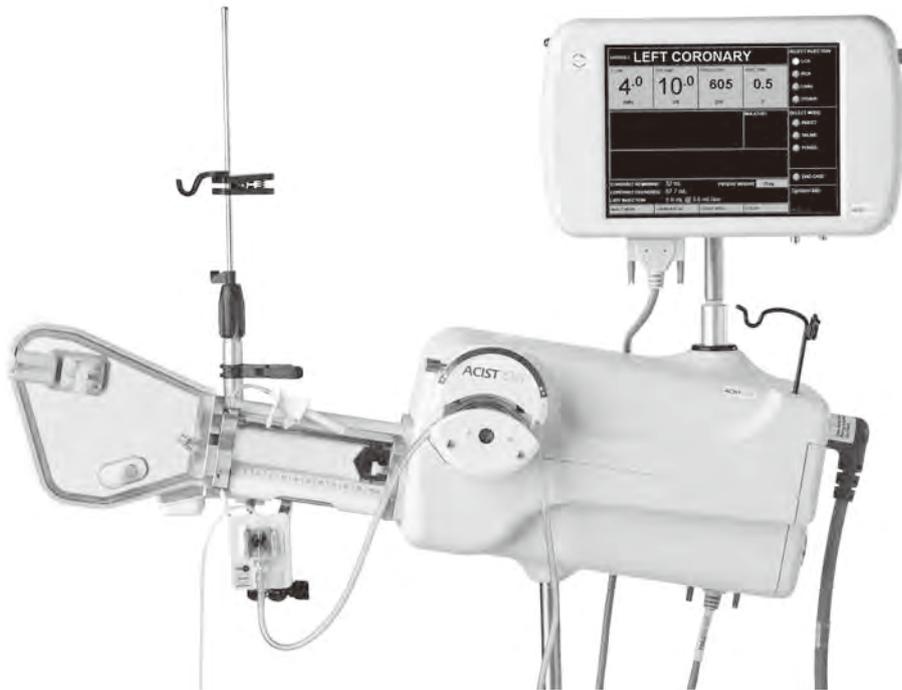
私たちは、日本国内において画像診断領域におけるソリューションを提供する高品質の医薬品を製造販売し、日々患者の皆様が診断と治療に携わっておられる医療関係者の皆様にお届けしています。

私たちの優れた製品により、患者の皆様が画像診断検査において安全に診断と治療に役立つ確かな診断情報を得られることを最大の使命として、長年に亘りX線/CT用造影剤（イオメロン）及びMRI用造影剤（プロハンス）を提供して参りました。



2024年7月より、私たちはグループ会社のアシスト・ジャパン株式会社と合併し、新たなスタートを切りました。これは両社がそれぞれに有している強みを最大限に活かす体制を構築するものであり、優れた製品だけでなく新たな付加価値を医療関係者の皆様にご提供できるものと強く信じています。

循環器系疾患の的確な診断をサポートする医療機器として、ACIST CVi® インジェクションシステムを提供しております。



高齢化が急速に進む日本社会にあって、画像診断をはじめとする早期診断、早期治療の必要性はますます高まっています。予防医学と精密画像の未来を創造し、人々の生活を向上させるというブラッコの目的を果たすため、今後もより一層邁進してまいります。

参加記

第17回 放射線災害時のスクリーニング作業の 実際について(実践講習会)参加記

横須賀市立うわまち病院 古賀 奈津実

11月30日(土)に放射線災害時のスクリーニング作業の実際について(実践講習会)に参加させていただきました。

前半は、3つの講演を拝聴させていただきました(写真1)。

一つ目の「被ばくを考えよう～若手技師のせっかくスクリーニング!!～」では、被ばくに関して改めて復習させていただけるような内容でした。万が一放射線災害が起きた時に地域の方々からの被ばくの質問に的確に答えられるようにするためには、日頃から自分や患者さんの被ばくがどれくらいなのかを意識して、被ばくへの知識を高めておくことが大事だと感じました。

二つ目の「横須賀市の原子力災害時の対応について」では、横須賀市内に原子力関連施設が二か所もある事にとっても驚きました。自分が住んでいる地域でも放射線災害が起きるかもしれないと知って、自施設の災害時のマニュアルの内容を確認して、放射線災害に迅速に対応できるようにしておかなければいけないと感じました。

三つ目は「甲状腺簡易測定研修に参加して」という講演でした。この講演を聞いて、放射線災害時、甲状腺簡易測定を実施する体制が整備されることになった理由や、甲状腺簡易測定研修の内容について知ることが出来ました。甲状腺簡易測定は、放射線災害発生から3週間以内に対象者の測定を終えなければいけないそうです。そのためには多くの測定者が必要とのことだったので、私も研修に参加して放射線災害時に少しでも貢献できるようにしておきたいと感じました。



写真1：講義の様子

後半は、3つの実践演習を行いました。

一つ目の「サーベイメータの使用法 & 実践」では、NaIシンチレーション式サーベイメータ、GM計数管式サーベイメータを用いて、模擬線源の測定を行いました。サーベイメータを触るのは学生の時以来だったので、この機会に改めて使用方法を思い出すことが出来ました。また、被災者の方に不安を与えないように測定音は消して使用する方がいいということを教えていただき、それがとても印象に残りました。

二つ目の「セグメント法について & 実践」(写真2)では、二人一組になってセグメント法を行いました。セグメント法とは、全身を6つの部位に分割し、一筆書きの要領でスクリーニングを行う方法です。実際にセグメント法をやってみて、3分間という短時間で測定部位の取りこぼしも少なく、効率のいい方法だと感じました。

三つ目の「タイベックスーツの着用方法 & 実践」(写真3)では、タイベックスーツという防護服を実際に着用しました。周りの方々に手伝ってもらいながら、やっとの思いで着用することが出来ました。特に脱衣では汚染を広げないために慎重に脱がなければいけないので大変でした。また、スーツを着ると密閉されているため暑く、その状態で沢山の方々をスクリーニングするのはとても重労働だと感じました。



写真2：セグメント法の様子



写真3：タイベックスーツ着用実習の様子

この講習会を通じて、放射線災害時のスクリーニングに必要な知識と技術を学ぶことが出来ました。これからもこのような研修会に積極的に参加して、知識と技術をさらに深めて放射線災害時に貢献できるよう努めていきたいです。この機会をいただいた関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

社会活動報告

第42回 糖尿病週間行事& 小田原市ふれあいけんこうフェスティバル 渉外活動報告

公益社団法人 神奈川放射線技師会 渉外委員会
西湘地区放射線技師会 原 千夏

2024年10月20日（土曜日）に小田原市のダイナシティウエストにて開催された『第42回 糖尿病週間行事&小田原市ふれあいけんこうフェスティバル』に参加しました。糖尿病がメインテーマのフェスティバルであるため、“糖尿病の方は乳がんになるリスクが20～30%ほど高い”ということをお伝えし、触診ファントムを用いて乳がん触診体験をしていただきました。

実際に体験された方々の多くが、触診ファントムの腫瘤を見つけるのが難しいとおっしゃっており、触診ファントムにある全ての腫瘤を見つけることができた方は少ない印象でした。



当日はたくさんの方が来場され、計101名の方々が触診体験に参加してくださいました。10代から80代まで、幅広い年代の方々が体験に参加くださり、また女性だけではなく、22名の男性にも参加いただきました。乳がんは女性だけがなる病気ではなく、近年は乳がんになる男性も増加していることをお伝えしました。

乳がんは早期発見できれば、90%が治癒できると言われています。乳がん健診や、セルフチェックのやり方など、乳がんについての知識がもっと広まり、一人でも多くの方の乳がんの早期発見に繋がると良いなと感じました。

<活動内容>

★乳がん自己触診体験 101名





社会活動報告

かわさき区子育てフェスタ2024 渉外活動報告

公益社団法人 神奈川放射線技師会 渉外委員会
日本鋼管病院 沖廣 賢吾

2024年10月26日（土）川崎市教育文化会館にて開催されたかわさき区子育てフェスタ2024に神奈川県放射線技師会から4名（うち、渉外委員会から2名）、川崎市放射線技師会から3名、計7名のメンバーで参加しました。

かわさき区子育てフェスタは毎年行われており、今回で24回目となります。

イベントでは、「あそべる！つながる！みんなともだち！」をテーマに楽器まつり、ぬりえ・おりがみコーナー、手作りおもちゃ、リバプールFC サッカースクールミニ体験会などの親子で楽しむイベントや保育園・幼稚園・認定こども園、子どもの応急手当講座、料理レシピなどの子育て情報コーナー、大人向けの健康チェックとして血管年齢測定、骨密度測定（当会担当）、乳がん触診体験などが行われました。

当日は、快晴で気温も暖かくたくさんの方が来場されイベントは盛大な賑わいを見せていました。近年、健康ブームということもあり、健康チェックブースにはたくさんの市民の方が訪れました。そのなかで当会では健康チェックとして超音波を使用した骨密度測定を行いました。4時間という短い時間ではありましたが、125名と多くの方に骨密度測定体験をしていただきました。皆さん測定結果に一喜一憂され、会場はとても盛り上がりおりました。測定後、簡単な結果説明を行う際に市民の方と少しお話する機会があったのですが、食事に関して気を使っているが何をどの程度摂取したら良いのか分からないと言われる方が結構いらっしまったので、簡単ではありますがカルシウム、ビタミンが多く含まれる食べ物や摂取目安量に関して簡単にアドバイスをさせていただきました。

短い時間ではありましたが、このようなイベントを通じて地域の方々とお話しできることはとても貴重な経験となりました。また、このような活動を継続していくことで地域の方々の健康管理を通じて地域貢献ができれば良いと感じました。

<活動内容>

★骨密度測定 126名



社会活動報告

ハローよこはま2024 渉外活動報告

公益社団法人 神奈川放射線技師会 渉外委員会
金岩 清雄

令和6年11月10日（日曜日）に横浜市中区の象の鼻パークにて開催された『中区民祭りハローよこはま2024』に神奈川県放射線技師会（渉外委員会、厚生委員会、災害委員会、組織委員会、管理士部会）のメンバー8名で参加しましたので報告いたします。

ハローよこはまは、横浜市中区の区民祭りとして昨年に引き続き開催されました。今回は「GREEN × EXPO2027」と「中区制100周年」の特設ブースとして様々な展示やワークショップが開催され、ステージではジュニアコーラスや高校軽音部の演奏、中国獅子舞の演武など、たくさんの魅力的なステージが行われました。当日は雨天も予想されましたが、なんとか天候にも恵まれ多くの来場者が訪れました。



神奈川県放射線技師会では、ブレストアウェアネスとして乳房触診ファントムによる触診体験や乳がん検診啓発、サーベイメータを用いた放射線サーベイ体験、被ばく相談などを行いました。ブースには271名もの一般市民の方々にお越しいただきました。

ブレストアウェアネスのコーナーでは、乳房触診体験として乳房触診ファントムと説明パネルを用いて正しい自己触診の方法を知ってもらい、乳がん検診受診の大切さについて広報活動を行いました。実際にファントムに触れてもらい、6つのしこりがどこにあるか、悪性良性のしこりの硬さや触り具合などを体験してもらいました。「しっかり触れないと分からない」「こんなにも大きいものなのか」などの感想がありました。

また神奈川県医療専門職連合会として、臨床工学技師や栄養士の方など様々な医療専門職団体と協力し、市民の方々に健康増進の大切さを伝えられたと思います。今後もイベント参加を通じて、神奈川県のがん検診の受診率の向上と県民の皆様の健康につながる手助けができるように活動を行いたいと思います。

<活動内容>

- ★ 乳がんファントム触診体験 183名
- ★ 放射線サーベイ体験 88名
- ◆ 技師会ブース来場 延べ271名

社会活動報告

健康チャレンジフェアかながわ2024 渉外活動報告

公益社団法人 神奈川放射線技師会 渉外委員会
金岩 清雄

令和6年11月23日（土曜日）横浜市みなとみらいにあるクイーンズスクエアにて開催された「健康チャレンジフェアかながわ2024」に神奈川県放射線技師会の渉外委員会ほか5名で参加しました。

このイベントは、かながわ健康財団が県民に楽しみながら健康への関心を深めてもらう為に毎年開催している無料イベントです。食生活や運動、口腔ケア、未病の改善など「健康づくり」をテーマにした体験型ブースや相談コーナーが開催され、スタンプラリーもあり素敵なグッズがプレゼントされました。また第10回を迎えた今年は、ジャズボーカリストの秋葉隆行さんによるゴスペルライブが開催され、土曜日ということもあり600名以上の市民の方が会場に来場し盛大なにぎわいを見せていました。



神奈川県放射線技師会は、放射線サーベイメータを使用し自然放射線を測定する「放射線を測ってみよう！」コーナーおよび、CT装置の再構成画像から撮影した物体を当てる「クイズ！CT画像これな〜に？」コーナーを実施しました。活動は12時から16時までと短い時間でしたが、技師会ブースには延べ107名もの市民の方の来場がありました。技師会の名前入りウエットティッシュなども配布し、自然放射線に対するレントゲン検査の被ばく線量やCT検査の実際などについて市民の方々と情報共有しました。

来年度も技師会としてイベント参加を予定しています。放射線の専門家として正しい知識を市民の方にお伝えするとともに、安心して検査を受けていただくために活動を行いたいと思います。

<活動内容>

- ★ 放射線サーベイ体験 74名
- ★ CT画像中身当てクイズ 86名
- ◆ 技師会ブース来場 延べ160名

！ お知らせ



大会テーマ
多様化する医療との共創
～開港の地から未来につなぐ～

演題募集中！！

募集期間
2025年 1/14～2/14

2025年度関東甲信越診療放射線技師学術大会

会期：2025年7月5日(土)・6日(日)

会場：パシフィコ横浜 会議センター



大会HP

【主催】公益社団法人 日本診療放射線技師会 公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会 一般社団法人 栃木県診療放射線技師会
一般社団法人 長野県診療放射線技師会 公益社団法人 神奈川県放射線技師会 一般社団法人 新潟県診療放射線技師会
公益社団法人 茨城県診療放射線技師会 公益社団法人 東京都診療放射線技師会 一般社団法人 千葉県診療放射線技師会
一般社団法人 群馬県診療放射線技師会 一般社団法人 山梨県診療放射線技師会

【実施】公益社団法人 神奈川県放射線技師会

【大会長】公益社団法人 神奈川県放射線技師会 会長 田島 隆人

！ お知らせ**第115回
神奈川消化管撮影技術研究会定例会****2025年3月29日(土) | 15:00~18:00****会場参加 (対面)**

かながわ県民センター304会議室
 横浜駅徒歩5分

会場マップ

**参加費：1,000円****開催方式：ハイブリッド**

入場14:30~ 参加費：現地での支払い(事前申し込み不要)

Web視聴 (Zoomウェビナー)

入場14:50~ 参加費：映像情報Medicalイベントページでの支払い

※参加登録には映像情報Medicalの会員登録が必要です。

画像配信トラブル等に関して当会としては責任を負いません。あらかじめご了承ください。

申込QRコード

**Program**

司会：一般財団法人 神奈川県労働衛生福祉協会 平田 陽子

15:00~15:05 **会長挨拶** JA神奈川県厚生連 相模原協同病院 長岡 学**15:05~15:20** **情報提供①** カイゲンファーマ 株式会社**15:20~15:50** **フレッシュズ発表**

『胃X線検査 ~どのタイミングで透視を出すべき? ~

必要な透視と不要な透視について考える』

医療法人社団 こうかん会 日本鋼管病院 渡邊 藍 技師

15:50~16:00 **情報提供②** 公益財団法人 神奈川県結核予防会 中村 真**16:00~16:50** **基調講演**

『ガイドライン改定~透視観察被ばくの観点から~(仮)』

公益財団法人 神奈川県予防医学協会 見本 真一 技師

16:50~17:00 **休憩****17:00~18:00** **シリーズ症例検討**

『症例検討を理解する ~初級者でもたくさん学べる~』

東葛病院 安藤 健一 技師

18:00~**アンケート・次回定例会ご案内 閉会挨拶****胃がん検診専門技師資格更新単位 2 ポイントが付きます**

■神奈川県消化管撮影技術研究会 会長 長岡 学

■事務局

JA神奈川県厚生連 相模原協同病院 放射線室

✉mail:mnagaoka_skxp@Hotmail.co.jp

協賛

堀井薬品工業(株) / 伏見製薬(株) / カイゲンファーマ(株)

! お知らせ



第71回 神奈川超音波研究会



2025年3月21日(金)

19:00~20:40

事前登録・アンケートにご協力ください
事前登録締切 3月17日(月) 15:00
*当日受付でもご参加いただけます



腹部US症例検討会

演題
募集

前後半合わせて4演題で行います。応募者多数の場合は幹事で協議し
選考させていただきます。
ご応募頂ける方は、2月1日までに下記に抄録をお送りください。

uskanagawa@gmail.com

会場 横浜市社会福祉センター4階ホール 横浜市中区桜木町1-1

参加費 500円



開催内容、変更などはSNS、メールにて行います。ご登録下さい。

共催: GE HealthCare
承認番号 JB10915JA

別表 1

2025・2026 年度 地区別代議員定数

地区	算定基準会員数 (a) *①②	代議員定数算定 (a) ÷ 30	代議員定数*③	予備 代議員数
川崎	246	8.2	8	1
横浜北部	118	3.93	4	1
横浜中部	124	4.13	4	1
横浜東部+県外	74(34+40)	2.47	2	1
横浜西部	224	7.47	7	1
横浜南部	194	6.47	6	1
横須賀三浦	83	2.77	3	1
鎌倉	33	1.10	1	1
湘南	107	3.57	4	1
平塚	54	1.80	2	1
西湘	84	2.80	3	1
伊勢原秦野	82	2.73	3	1
県央	100	3.33	3	1
相模原	110	3.67	4	1
合計	1559	—	54	14

※①③(代議員及び予備代議員選出規程 第3条)

地区選出代議員の選出数は、選挙実施日年度の11月1日現在の選挙人名簿により、30名ごとに1名とする。ただし30名以下の端数については、15捨16入とする。

※②(代議員及び予備代議員選出規程 第2条4項)

県外に居住する者は理事会が決定する地区を選挙区とする。

求人案内

2027年4月開学予定 (2025.10月設置認可申請準備中)

大学教員 募集

現在の中央医療技術専門学校を大学に改編し神奈川県横須賀市郊外横須賀リサーチパーク内に（神奈川県横須賀市光の丘 1-1-1）

（仮称）**中央医療大学**を開設致します。

開学にともない、診療放射線技師教育に携わる教員を神奈川県内から広く募集致します。



【募集案内】

- 1、2027年4月から勤務可能であること
(段階的に採用となるため着任時期が2027年4月以降となる場合があります)
- 2、満65歳まで(勤務開始時)
- 3、関係分野の修士号以上取得者(職位については文部科学省による資格審査があります)
- 4、待遇及び労働条件については要相談
- 5、中央医療技術専門学校HPから本学指定の履歴書・業績書を使用願います
(メールにてデータ送信提出後、原本を郵送 ※提出頂いた書類は適正に保管処分します)

【応募書類提出先】

〒124-0012 東京都葛飾区立石 3-5-12

学校法人 中央医療学園 中央医療大学設置委員会 平松雅樹 宛

Mail: saiyoh@ccmt.ac.jp

年頭のご挨拶



明けましておめでとうございます。
謹んで新年のお慶びを申し上げます。

今年の干支は「乙巳(きのと・み)」です。「乙(きのと)」とは、陰の木のパワーを示す十千の一種とされ、木々の様に調和を保持しながら成長していくという意義をなす要素であり、目標達成を意味します。

「巳」はご存じの通り「蛇」をあらわし脱皮をすることから、美しく新しいものへと成るとされ、「再生と変化」を意味します。

この2つの組み合わせの「乙巳(きのと・み)」には、これまでの努力や準備が実を結び始める時期を示唆しています。

去年は4年ぶりに開催することが出来た新春情報交換会を皮切りに、第20回神奈川放射線学術大会、告示研修、渉外事業や学術事業等と計画通りに達成できる見込みです。これもひとえに、日頃よりご支援を頂いた皆さまのおかげと深く感謝申し上げます。

今年は7月5、6日の2日間、パシフィコ横浜で12年振りの神奈川開催「関東甲信越診療放射線技師学術大会」を役員一同成功に向け、様々なイベントを企画し実施に向け取り組んで参ります。また、告示研修に於いても最終年度となりますので、より多くの方が受講可能になるよう、12回/年開催を目標に取り組む所存です。2025年は本会が取り組んできたことを実現していく年、まさに「乙巳」に相応しい年にしたいと思います。

最後になりますが、本年が皆さまにとって輝かしく、幸福で健やかな1年になりますようにお祈り申し上げますと共に、引き続きのご支援、ご指導を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

公益社団法人神奈川県放射線技師会

会長 田島 隆人

編集後記

Editor's postscript

トランスジャパンアルプスレース(通称TJAR)という山岳レースをご存じでしょうか。富山県の海岸を出発して北、中央、南アルプスの山々を越えて静岡県の駿河湾を目指していく全長217kmもある日本一過酷なレースです。危険な登山道を数日間に渡り走るため出場するための参加資格がとても厳しく定められています。先日職場で話をしていたら同僚がその過酷なレースを目指すとのこと。アラフィフでありながら常に挑戦し前に進んでいく姿勢と決意に驚かされました。今私の病院でもタスクシフト/シェアの推進に向けた検討をしています。仕事も趣味も彼のようにアップデートや変化を恐れない姿勢で前に進んでいきたいと感じました。

編集委員会

(委員長) 木本 大樹

小菅 友也・林 大輔・大河原 伸弘・小栗 丹・新田 正浩・
上遠野 和幸・津久井 達人

発行所

令和7年1月27日 Vol.77 No.5 Jan.2025(No.314)

公益社団法人 神奈川県放射線技師会

〒231-0033 神奈川県横浜市中区長者町4丁目9番地8号

ストーク伊勢佐木1番館501号 TEL 045-681-7573 FAX 045-681-7578

E-mail: kart_office@kart21.jp URL: http://kart21.jp/

発行責任者 印刷

田島 隆人

山王印刷株式会社

〒232-0071 横浜市南区永田北2丁目17-8 TEL 045-714-2021(代)



Visit Our Website
kart21.jp/

無断転写、転載、複製は禁じます



公益社団法人 神奈川県放射線技師会誌
かながわ放射線だより

KART

Vol.77 No.5
Jan.2025
314

令和7年1月27日発行
ISSN 1345-2665

発行／公益社団法人 神奈川県放射線技師会
U R L : kart21.jp/
E-mail : kart_office@kart21.jp

